

漱石山房

道草

三十三

葬式の帰りに寄つたかも知れな

いと見は遂に瘡を見せふのつら

あんなまりにさふつらうすぐ

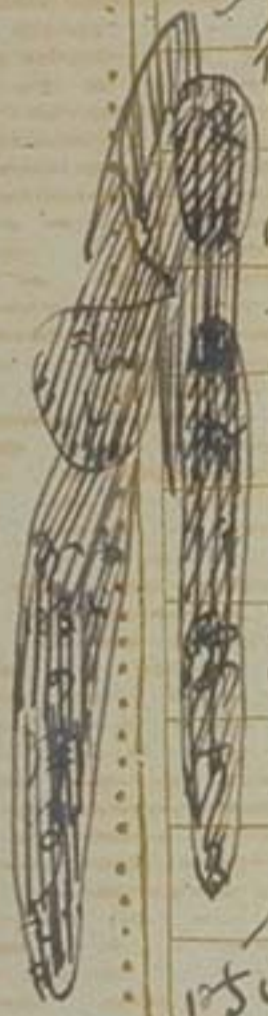
ふつとんせうの便

健三其の便彼の仕

事は前りの日の前夜の

へふければ義務を果する

のモのぞあつと。彼は出たに自



漱石



回山房

見
難
也



3

「左^さ右^{みぎ}云^いへば^ばさ^さう^うも^も知^しれ^れあ^あい^い。

抽^{ひきだし}斗^たに

扱^{あつか}げ^げい^いん^んじ^じち^ちり^り。



斯^{この}ん^のお^おも^もの^のを^を

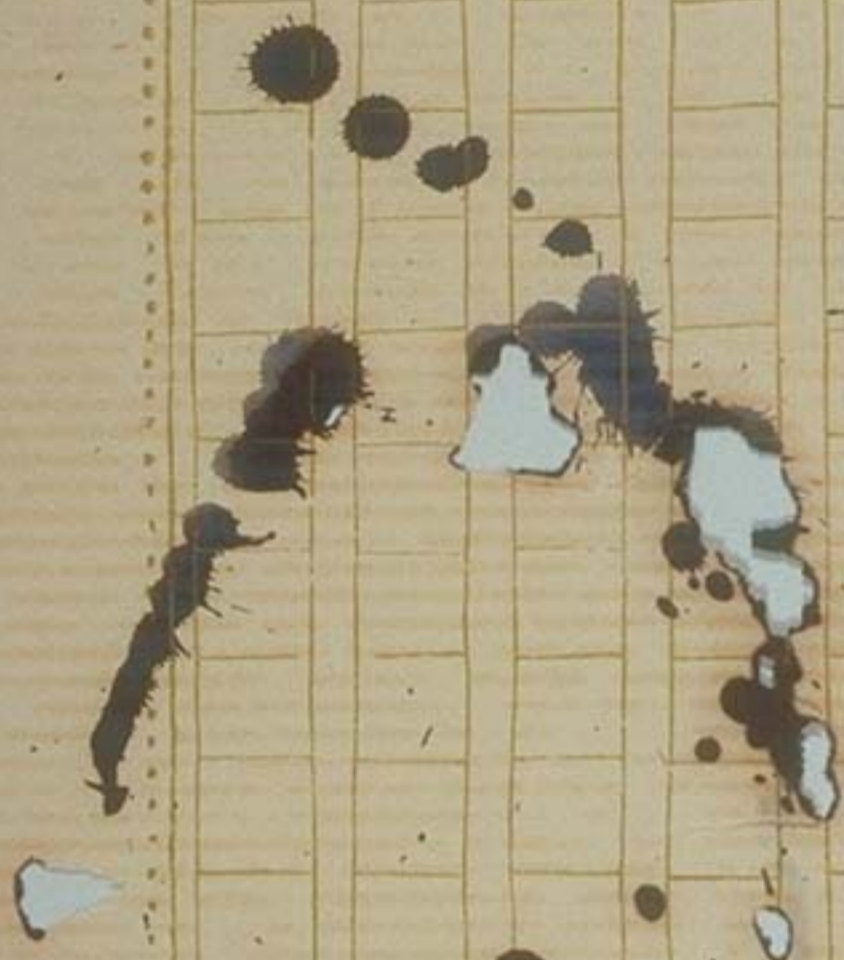
筆^{ふで}の^のほ^ほろ^ろに^に放^{はな}つ^つて^て墨^{すずり}を^をい^いん^んん^んと^とい^いふ^ふ。



然^{しか}し^し能^よく^くま^まあ^あら^らぬ^ぬつ^つて^て墨^{すずり}が^がい^いん^んん^んと^とい^いふ^ふ。

困^{こま}つ^つち^ちや^やけ^けら^らん^んお^おも^もの^のま^ま

何^{なに}し^しか^か



瀨石山房

斯んお記憶は今の彼を得意にするやう

も却つて悲しくレド。昔の彼は鋭く

も一人であつた。今の彼は切が読めず餘

福のあいに、~~...~~しるる上には、周囲のもの

ううは心構のやうに思はれらるる。それ

誰かの

お彼は、~~...~~自然のやう

あもが、~~...~~く。



瀧石山房

斯^レに亦記^ス懐^クは今の^レ彼^レを得^ル意^ニにす^ルより
 も^レち^クフ^レニ^シ主^ク心^ヲし^クし^ク
 ○^レ自^レか^クの^レ周^ニ固^クを^レ見^ル後^ニ



し
 毛^ノ自^レか^クが^レ彼^レ意^ノの中^ニ心^ニに^レち^クう^レこ^クる^レ



の^レ心^ノとい^フ

みる^レ実^ニに^レ木^ノの^レ心^ノ

瀧石山房

斯ん亦記憶は今^{いま}の彼を得意にするより

も却つて悲しくし^し。今昔の感^{かん}一^{いっ}

ふ^{あり}其の言葉で一^{いっ}たあやう^{あやう}現はせる^{あらわ}情緒が

彼^{かれ}の胸^{むね}に湧^わか^かい^い。

彼^{かれ}位^{くらい}ありさうおも^{おも}の^のづ^づが^が物^{もの}

マ^マし^し亦^{また}長い^{ながい}お^おひ^ひに^に知^し人^{ひと}し^して^て市^し休^まあ^あり^り

く^くんで^{んで}。何^{なに}う^うせ^せに^にあ^ある^るん^んど^どう^うか^か、[、]要^いら^らぬ^ぬ

~~何~~

~~一~~

瀨田山房

道草

三十九

それうら舞台の急に変わつて。淋しい田

金の突然彼が記憶うら消え。り

連子窓の街いく晴宅裏通り

如長い町

ヨソ

漱石

澁石山房

2

とを連想する。ふが^ふ出^で来^きち^ちう^うつ^つ。

彼は其^そ所^とで泡^う痰^{たん}をし^しく。

舞^まくと、種^{しゆ}痘^とをし^しくの^のあ^あら^らう^うで^であ^あつ^つ。

ひ出^いし^しの^のぶ^ぶと^とう^うい^いふ^ふ。
元^{もと}で^であ^あつ^つ。

崎^{さき}い^い樽^く子^この^の肉^{にく}で^で、肉^{にく}を^をあ^あら^らう^う。

お^おお^おき^きく^くあ^あつ^つ。
却^{かへ}り^りあ^あら^らう^う。
痘^と痰^{たん}を^をし^しく。

彼^{かれ}は

瀧石山房 2

とを連想する靴の出まじらうつら。

彼は其所で抱癒をしら。大さくあつて

すくくと、種痘の元もとでで抱癒を誘ひ出しらの

ど、とのいやは話はなしであつら。彼は晴はるい標しるし子の

うちで、怒身おこしんの肉にくがひとりでに動き出すや

うふ、痒かゆさは



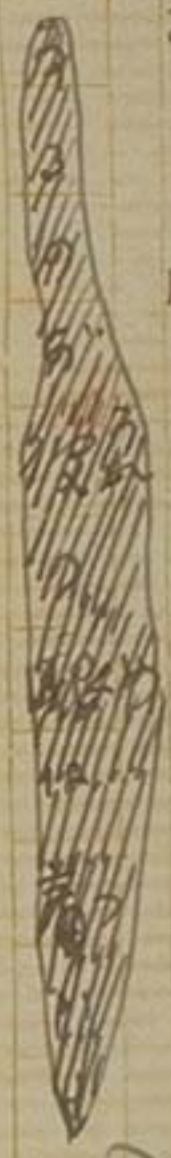
轉まわり廻まわる。

瀨田山房

3



り。其
所で
井
学
を
乞
つ
る



あ
り
き
ゆ
は
ら
ん
と
う
め
し
く
さ
ら
し
く
さ
ら
し
く
さ
ら
し
く

彼は
高
い
町
に

瀧石山房



三の頭
 けい
 其
 う
 レ
 記
 境
 の
 道
 片
 が
 崎
 の
 使

あつてふん。



瀨石山房

		外	こ	見	ち	彼	の	と
		れ	の	え	し	の	、	。
		く	誰	る	は	の	、	。
		と	だ	静	は	野	荒	。
		叫	の	い	む	二	会	。
		ん	白	竹	び	は	が	。
		ど	く	菰	け	は	あ	。
		の	の	の	け	は	う	。
		偽	偽	の	い	と	う	。
		は	は	方	れ	と	う	。
		に	に	へ	る	鷹	の	。
		花	花	の	る	と	あ	。
		ぶ	ぶ	ゆ	る	と	あ	。
		もの	もの	あ	る	と	あ	。
		の	の	に	る	と	あ	。
		の	の	毛	る	と	あ	。
		外	外	ん	は	何	。	
		れ	れ	で	は	の	。	
		く	く	行	は	意	。	
		木	木	つ	は	味	。	

する
と

鷹
は

向
ふ

瀛海何山房

彼^{あいつ}は^はみ^みは^は不^ふ知^ちの^の明^{めい}で^であ^あつ^つて^ての^の従^{しんが}つ^つて^ての^の田^{くんぼ}圃^ぼや

往^か來^かは^はり^り見^みえ^える^る田^た舎^{しゃ}に^にの^のと^と狭^{せま}苦^くし^しい

何^{なん}の^のか^か先^{せん}は^はあ^ある^るの^のう^う、[、]そ^それ^れも^も彼^{あいつ}は^は彼^{あいつ}と^とは^はよ^よく^くあ^あら^らな^ない^い

あ^あの^のう^う、[、]そ^それ^れも^も彼^{あいつ}は^は彼^{あいつ}と^とは^はよ^よく^くあ^あら^らな^ない^い

彼^{あいつ}の^の父^{ちち}母^{はは}と^として^{して}は^はい^いて^てあ^あら^らな^ない^い

其^{その}時^{とき}期^きの^の記^し憶^ゆは^はあ^あら^らな^ない^い

彼^{あいつ}の^の意^い識^しは^は上^うつ^つて^ての^の

は^は、[、]そ^それ^れも^もあ^あら^らな^ない^い

其^{その}時^{とき}夫^{つま}婦^{めかけ}は^は変^{へん}な^な定^{じやう}に^にな^なる^る。

柄^へは^は尻^{しり}の^のつ^つぼ^ぼあ^あつ^つて^て

屋^や敷^{しき}の^の三^{さん}つ^つに^に仕^し切^きら^られ^れ



瀨石山房

其時夫婦は変ふ家には飛ぶ。

折れ
と、地の堀陰には遊つて居る段を二三程

あつた所は狭い雨路次はど、
それを掛け、末は大き

か、
賑や
木
通りへ出て。

17日
12日

たみ

Great the
the the Great
the morning